

【科目名】2. 園芸と環境 (オンデマンド)		
【期 別】 通年	【区 分】 必修	【種 別】 講義
【単位・コマ数】 2単位・15コマ	【時間数】 30	
【主任教員】 ○田崎 史江 (3)		
【分担教員】 ○劔持 卓也 (3)、山本 聡 (2)、澤田 佳宏 (1)、樋上 啓子 (2)、三田 清華 (4)		
【授業のねらい】 植物を栽培する環境に関する知識と、心身の健康改善に効果的な環境の創造に必要な知識を学ぶ。		
【授業回】	【担当教員】	【授業内容予定】
第1回	田崎	植物生理と栽培環境 1 有毒植物と危険な生物、対策と応急処置
第2回	三田	植物生理と栽培環境 2 花卉 (一二年草、宿根草、球根植物)、発生しやすい病害虫と対応
第3回	三田	植物生理と栽培環境 3 野菜 (畑、プランター)、発生しやすい病害虫と対応
第4回	三田	植物生理と栽培環境 4 観葉植物・ハーブ類、発生しやすい病害虫と対応
第5回	三田	植物生理と栽培環境 5 樹木 (花木・果樹)、発生しやすい病害虫と対応、 季節に応じた収穫物の利用法
第6回	山本	景観と健康 1 植物 (緑環境) の健康への効果 (グリーンアメニティ関連)
第7回	山本	景観と健康 2 緑環境の健康への活用 (都市公園事例)
第8回	澤田	生態系の健全性 多様性の保全と利活用
第9回	樋上	癒しの環境、セラピューティックガーデン造成 1 花壇の種類と植栽例
第10回	樋上	癒しの環境、セラピューティックガーデン造成 2 癒しの環境とは
第11回	劔持	癒しの環境、セラピューティックガーデン造成 3 園芸活動のための環境 (ガーデン) づくり
第12回	劔持	癒しの環境、セラピューティックガーデン造成 4 季節ごとの植物の利活用 (園芸活動への提案)
第13回	劔持	癒しの環境、セラピューティックガーデン造成 5 人を繋げる園芸活動と場の作り方、その進め方
第14回	田崎	癒しの環境、セラピューティックガーデン造成 6 園芸文化や暦の理解
第15回	田崎	園芸と環境まとめ 人の健康づくりに寄与する環境の創造に向けて
【購入図書等】	田崎 劔持 三田	・増補改訂版 人もペットも気をつけたい 園芸有毒植物図鑑、土橋豊、淡交社、2022 年 ・最新園芸・植物用語集、土橋豊、淡交社、2019 年 ・よくわかる植物の病害虫 防ぎ方・なおし方、草間佑輔、主婦の友社、2025 年
【参考図書・HP】	田崎	・すぐわかる病害虫ポケット図鑑、大阪府植物防疫協会編、農文協、2018 年

	<p>剣持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然をデザインする 環境心理学からのアプローチ、レイチェル・カプランら著、誠信書房、2009年（絶版）
<p>【成績評価の方法】</p>	<p>田崎 剣持</p>	<p>オンデマンド講義内の小テストおよび下記のレポートによる。 「みどりと健康活動に用いたい植物と環境」というテーマで、自分がみどりと健康活動を実践する際にどのような場所でどのような植物を用いて、どのような活動を行いたいかまとめてメールに添付して提出。 レポートの様式：A4用紙2-3枚程度、1枚40文字×30行・明朝体/英数 century 送信先：TA谷 提出締切 9月30日（水）23:59</p>
<p>【受講生への連絡・希望】</p>	<p>田崎 剣持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目はオンデマンドでの開講となる。第1回から順に視聴すること ・前期（4月～9月）に全講義を視聴すること ・提出するレポート類はパソコンでワードを使って作成していただきます。操作を習得しておいてください ・講義に関する質問や確認があれば、教員（田崎・剣持）宛にメールで送ってください 件名：【園芸と環境】質問：・・・について